

新しい年度のスタートです

校長 内田 辰彦

今年は暖かな春の始まりで、校庭の木々も素敵な花を次々に咲かせています。卒業式のころ満開を迎えたソメイヨシノは、まだ花を残していますが、桜吹雪の花びらを舞わせています。八小は、春分の日ごろにサトザクラが咲き、今はソメイヨシノとオオシマザクラが満開です。もうすぐ咲きそうなヤエザクラもあります。一口に桜と言っても様々な種類があり多様性があります。ソメイヨシノが多く植えられていると一斉に咲く素晴らしさもありますが、八小は多様性のお陰で長く花を楽しむことができます。

その桜の花吹雪をくぐって、子供たちが登校してきます。今年の1年生は51人、全校児童はちょうど300名になります。一人一人が新しい年度に素敵な花を咲かせることができるよう教職員一同で以下のように取り組みたいと思います

まず、教育目標の重点を「仲良く助け合い、よく働く子ども」としました。これは、これからの子供たちに育みたい資質・能力の中にある「人間関係形成力」を育むために今年度の重点としました。昨年の臨時休業の際、私たちは学校の意義を再考させられました。リモートの授業や課題を出すことで、知識の定着を図ることはある程度可能であることは分かりました。ただ、動画や画像を見るだけでは伝わりにくかったり効果が薄かったものもあります。それは、かかわり合うことや、話し合うこと、相手のことを意識したり、ふれ合ったりすることです。これらのことは子供たちが学校に登校し、互いに顔と顔を合わせて学校生活を送っていくことで可能になります。また、思考力・判断力、表現力を養っていくことについても、相手を意識することで、より具体的に考えられたり内容が深まったりします。そこで、「仲良く助け合い、よく働く子ども」の育成を目指して、様々な学校生活の場面で人間関係形成力を育む取り組みを行っていきます。

また、今年度重点的な取組として次のようなことを行っていきます。

- ・ 一人1台端末とミライシードの活用
ドリル学習による学習の定着、意見交流、協働的な学習、記録・レポートの作成 等
- ・ 校務支援システム等の活用による校務効率化
- ・ 教師用デジタル教科書の活用
- ・ モジュール時間を活用した英語学習の充実
- ・ ESD教育の推進
- ・ 生活指導における凡事徹底
- ・ 積極的な生活指導の推進
- ・ コーディネーショントレーニングの推進
- ・ オリパラ教育レガシーの構築（しょうがい者理解教育）



これらの取り組みを通して子供たち一人一人が素敵な花を咲かせることができるよう努めてまいります。

なお、4月から変えたこととして、名簿の順を男女混合の名前順にしたこと、登校時間を15分ずらして8時15分から8時30分にしたことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。